

令和8年度 シラバス

教 科	地理歴史	科 目	歴史総合	学 年	第1学年	学 科 類 型	商業科 情報ビジネス科
単位数	2単位	教科書	歴史総合（東京書籍）				
副教材	歴史総合ワークノート（東京書籍）						

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ課題を追究したり解決したりする活動を通して広い視野に立ちグローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指します。
------	--

キャリア教育の視点	歴史上の様々な人物の生き方について、時代背景などを踏まえて考察することにより、自己の生き方や役割、将来設計を考えることにつながります。 また、宗教や民族をめぐる紛争、科学技術の利用の在り方などの諸課題について、歴史的な背景を踏まえて考察することで、課題に対応する力を養います。
-----------	--

		学習計画及び内容	考 査
1 学 期	4月	第1章 近代化と私たち	中間 考 査
	5月	第1節 近代化への問い	
	6月	第2節 アジアの繁栄と西洋近代の形成	
	7月	第3節 世界の一体化と多様な近代化	
2 学 期	8月	第4節 近代化と現代的な諸課題	期 末 考 査
	9月	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち	
	10月	第1節 国際秩序の変化や大衆化への問い	
	11月	第2節 第一次世界大戦と大衆社会	
3 学 期	12月	第3節 経済危機と第二次世界大戦	中 間 考 査
		第4節 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	
	1月	第3章 グローバル化と私たち	期 末 考 査
	2月	第1節 グローバル化への問い	
	3月	第2節 冷戦と世界経済	
		第3節 世界秩序の変容と日本	
		第4節 現代的な諸課題の形成と展望	学 年 末 考 査

学習の方法	板書を写したり、ノートの空欄に用語を記入したりするだけでなく、歴史の流れや事象の関係を理解しながらまとめることが大切です。年代や用語の確認にとどまらず、教科書の年表や図版を参考にし、学習を深めてください。
-------	---

評価の仕方	評価の観点（「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」）に即して、定期考査の得点と平常点で算出します。 平常点は、課題への取組、提出物の状況、授業に取り組む姿勢などで評価します。
-------	--

備考	
----	--